
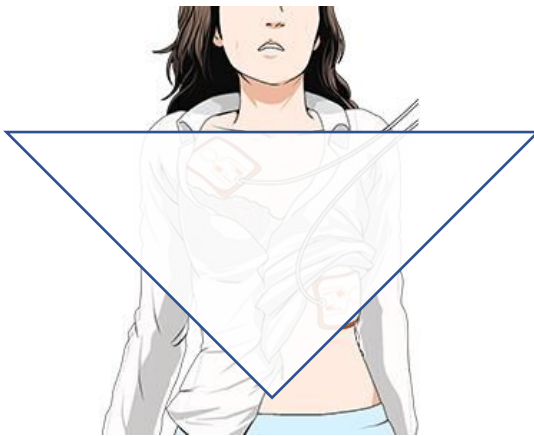


三角巾を利用した

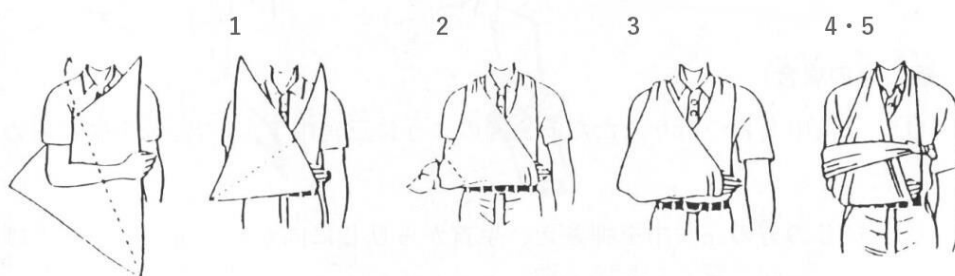
フライバシーの保護方法

① 服を脱がさず AED パッドを装着 ※フライバシー保護より AED を優先	② 三角巾をかけ、フライバシー保護する ※透ける場合などは三角巾を 2 枚使用
	

※三角巾を使った応急手当の例

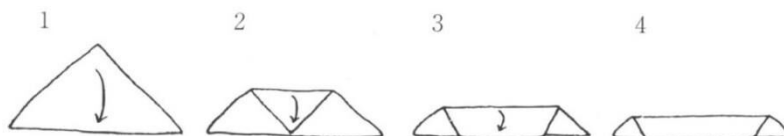
●腕の固定

1. つる腕と三角巾の底部の部分が並行になるようにし、つる腕の手を胸に当てる。
2. 三角巾の下部分を図のようにつる腕を包んで折り曲げ、肩にかけ、肩の後ろで結ぶ。
3. ひじにある三角巾の頂点は腕の長さに合わせて結び、内側に入れる。
4. 三角巾が 2 枚ある場合は、もう 1 枚の三角巾で体に固定する。
5. 指先は血液の循環を確認するために、覆わないで少し出しておくようにする。

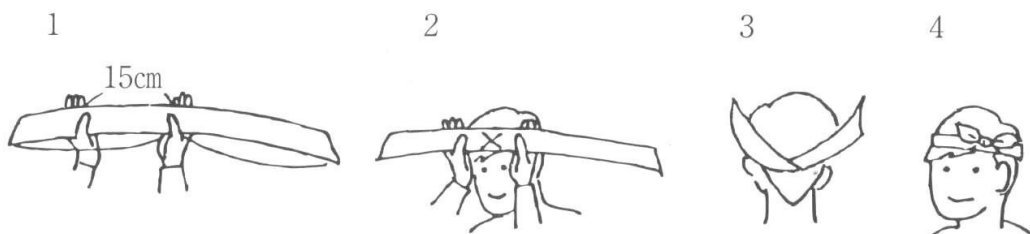


●額の傷の場合

1. 三角巾を 8 つにたたむ。



2. 三角巾の中央部分から 10cm ぐらい左(右)の部分を経の傷に当てる。
3. 三角巾の両端を後ろに回し、交差させる。
4. 三角巾をさらに前に回し、傷を避けて額のわきで結ぶ。



女性にAEDを使うのを ためらわないで!!

服をすべて脱がさなくても、AEDは使用できます!

パッドを

素肌に直接貼り付ける

ことができている場合は、**ブラジャー**
を外す必要はありません。

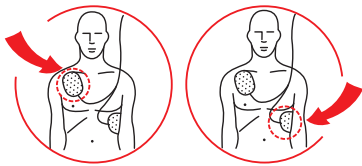
服の下で下着をずらして、

右の鎖骨の下と

左のわき腹のあたりに

貼ることで対応できます。

AEDのパッドに描かれている
イラストをご参照ください。



金属製品 (ブラジャーのワイヤー部分、ネックレス等) はパッドに触れさせないようにしてください。

パッドに触れていなければ、ネックレスは無理に取り外す必要はありません。

パッドを貼った後に、上から上着やタオルなどをかけても大丈夫です

その他の注意事項

- * 汗などで胸が濡れている場合は、水分を拭き取ってください。
- * 電極パッドを貼る部分に貼り薬 (湿布等) が貼られている場合は、貼り薬を剥がしてください。
- * ペースメーカー等が植え込まれている場合 (胸に硬いこぶのようなでっぱりが見える) は、このでっぱりを避けて電極パッドを貼ってください。
- * 車内など、揺れている場所では使用しないでください。

**重要なことは
電気ショックの時間を
遅らせないことです**

電気ショックが1分遅れるごとに
救命率は10%ずつ低下します

完璧でなくても構わないので、命を助けるために、
勇気を持って一步を踏み出してください